

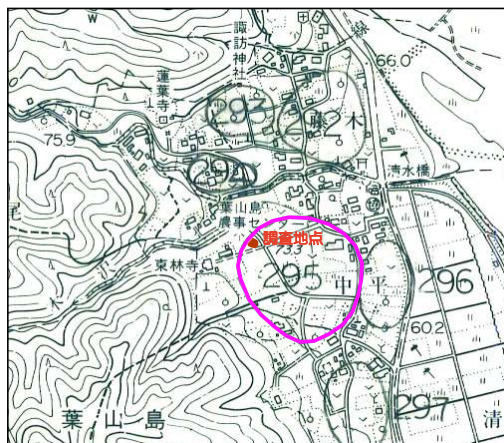


一般国道468号(さがみ縦貫道路)  
建設事業に伴う発掘成果

## なかだいら 中平遺跡

(相模原市No.295遺跡)

### 縄文時代の遺跡を発掘



遺跡の位置

#### なかだいら 中平遺跡の発掘調査

中平遺跡は相模原市葉山島、相模川西側の低位段丘上に所在します。国土交通省関東地方整備局相武国道事務所が計画する一般国道468号(さがみ縦貫道路)道路建設事業に伴う事前調査として、2011年3月16日から発掘調査を行っています。

葉山島地区は相模川に向かって西から東へ緩やかに傾斜する平坦地が広がっており、縄文時代の遺跡が集中している所です。中平遺跡(上図295)は藤木沢の南岸にあり、今回遺跡の北西部を調査しました。今まで縄文時代、奈良・平安時代、近世以降の調査を行いましたが、ここでは縄文時代の調査成果を紹介します。

#### 縄文時代の調査成果

縄文時代では集石、焼土跡、配石、ピットが見つかっています。集石は焼けた石が集中しており、焼石を用いた調理施設と考えられます。近くでは焼けた土(焼土)も見つかっています。配石はやや大きめの石を意図的に配置したものです。墓と考えられるものもありました。ピットは柱の穴です。住居跡は見つかっていませんが、集落の一部が明らかになりました。



①遺跡全景写真

#### これまでの主な発見遺構と出土遺物

##### ——発見遺構——

近世以降: 溝、竈遺構 など

奈良・平安時代: 土坑 など

縄文時代: 配石、集石  
焼土跡、ピット など

##### ——出土遺物——

近世以降: 陶磁器

奈良・平安時代: 土師器 など

縄文時代: 縄文土器、打製石斧  
磨製石斧、磨石  
石皿、石鏃 など



②集石



③配石



④遺物出土状況



⑤打製石斧

この他、調査区全域から遺物が出土しています。遺物は縄文土器・石器があり、土器は縄文時代中期・後期に属します。土器はみな破片ですが装飾のついたものもあります。石器はドングリを磨り潰すのに用いた磨石が出ています。また、打ち欠いて作った打製石斧、磨いて作った磨製石斧、石の錘も出土しました。植物質食料や木材の加工など、諸活動が行われていたようです。



⑥土器・磨石



一般国道468号(さがみ縦貫道路)  
建設事業に伴う発掘成果

中平遺跡 (相模原市No.295遺跡)

2011年 4月 24日

公益財団法人 かながわ考古学財団  
〒232-0033 横浜市内南区中村町3-191-1

おおよその年代

35000年前 15000年前 2500年前 1700年前 1300年前 800年前 400年前 1500年前

旧石器時代

縄文時代

弥生時代

古墳時代

古代

中世

近世